

令和4年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ来さまい館、むつ下北観光物産館、むつ市イベント広場	
指定管理者	団体名	むつ商工会議所
	代表者	会頭 内田 大輔
	所在地	むつ市小川町2丁目11-4
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）	
指定管理業務の概要	<p>(1) むつ来さまい館 ア 産業の振興、中心市街地の活性化及び市民等の交流促進に関する事業。 イ 地域振興に関する資料の収集、保管及び利用並びに情報の発信に関すること。 ウ 館の施設提供に関すること。 エ アからウまでに掲げるもののほか、館の設置目的を達成するために必要な業務。</p> <p>(2) むつ下北観光物産館 ア 観光施設の案内、宿泊施設の紹介その他の観光情報の収集及び提供に関すること。 イ 地場産品の展示並びに情報の収集及び提供を行うこと。 ウ 電気自動車急速充電設備利用者の受付、案内及び設備周辺の除雪などに関する業務。 エ その他観光、物産充実振興上必要な業務。</p> <p>(3) むつ市イベント広場 ア 市民の文化活動、休憩、集会等の用に供すること。</p> <p>(4) 上記のほか、各施設に共通すること。 ア 各施設の使用許可または使用の制限に関する業務。 イ 各施設の使用に係る利用料金収受に関する業務。 ウ 各施設の維持及び修繕に関する業務。 エ その他、各施設の管理上必要な業務。</p>	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額①	上半期実績額②	増減(②-①)
収入合計(A)	71,893	34,011	△37,882
うち利用料金額	12,900	5,188	△7,712
うち指定管理料	55,300	27,650	△27,650
支出合計(B)	71,893	29,605	△42,288
うち人件費	27,107	12,668	△14,439
収支差(A-B)	0	4,406	4,406
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	施設使用料においては、利用者の申請(支払)時期によって期間を限定した利用収入額に影響が生じます。感染症の影響により中止対策として直前や利用後の支払いが増加しており、上半期の収入に影響していると考えられます。また、上半期には感染症が拡大したこともあり、イベントや展示会等複数日をまたぐ規模の大きな催事があまり行われませんでした。人件費においては、職員(1名)の育児休暇取得による減となります。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	むつ来さまい館	70,000	34,924	△35,076
	下北観光物産館	25,000	7,851	△17,149
	イベント広場	50,000	7,732	△42,268
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・無)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ホールの照明が暗い。【対応：LEDランプの交換を実施。今後も計画的に修繕予定】 ・会場準備、貸し出し備品（マイクやプロジェクター）や冷暖房費が無料で使用しやすい。 ・駐車場が狭い。【対応：近隣の駐車場を借用する、予約受付時点でお伝えし乗合いをお願いする 等】 ・時間変更にも柔軟に対応してもらえた。 ・個人団体問わず安価な利用料で催事を増やして人流を増やす。 行事やイベントの予定がわかる一覧表のようなものがほしい。 【対応：貸室利用の予約を優先としているので、空き時間・空きスペースを活用した事業を検討していきたい。事業予定はHPに掲載しているが、紙媒体で見られるものを検討したい。】				

4. 自主事業の実施状況 ※企画事業として実施

単位：人、千円

事 業 名	利用者数	収 入	支 出
文化展①うみね工房「春らんまん展2022」	180	0	0
②むつ盆栽会「盆栽展」	200	0	0
フリーマーケット①5月22日実施	300	24	0
②6月26日実施	300	28	0
③7月24日実施	300	18	0
④8月28日実施	300	13	0
⑤9月25日実施	300	20	0
ふれあいフェスタ&ハンドメイドマルシェ	547	28	258
ジャズライブ「MALTAジャズカルテット」	78	194	749
夏休み体験館	398	7	33
(随時) 音楽活動支援事業	3	11	0
(随時) 路線バス乗車券販売	469	70	0
むつまちづくり(株)協力事業『来さまい館教室』	119	0	125

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A (優 良)：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B (適 正)：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C (要改善)：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評 価 項 目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B

③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	A
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目についての改善策を記載すること。

<p>(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用にあたって、利用者より会場レイアウトなどを聴取し、当館職員が事前に机・イス等の会場準備を行いました。 施設特別清掃による休館や館内設備の業者点検などは、時期や時間帯を考慮し、利用者に影響の少ないかたちで実施しました。 施設利用者向けにアンケートを設置し、意見・要望の聴取に努めました。 <p>(2) 利用促進に関する取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページやSNSにて最新の情報を提供できるよう努めました。 <p>(3) 効率性の向上に関する取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 高額となる修繕については、所管課と協議のうえ計画的に実施できるよう調整し施設管理に努めました。 軽微な修繕については、職員で対応できるものは適宜行い、経費の削減に努めました。 <p>(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 机や椅子など備品の補修は適宜行い、利用者が快適に使用できるように努めました。 2階展示スペースなどの見回り（除菌清掃も兼ね）を一定時間毎に行い、破損や物品の紛失がないかどうか確認しました。 <p>(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者間の使用時間や使用備品の調整など、平等な利用ができるよう配慮に努めました。 利用者には備品や設備の使用方法を説明し、必要であれば職員が対応するなど、適正・安全に使用い
--

ただけるように努めました。

- ・災害時の対応について、連絡方法や各自の役割を確認し、職員の見えるところに掲示し、迅速に対応できるよう努めました。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

感染症の影響により利用者はコロナ禍以前よりは減少していますが、昨年度と比較すると回復傾向にあり、自主事業においても各種開催が来ています。また、アンケートへの対応や職員による会場設営など、良好な利用者サービスが維持されていることを評価します。

施設の管理・運営に関しても、利用者に配慮し、適切に行われているものと評価します。

今後も引き続き感染防止対策を徹底し、利用者・収益増に繋がるイベント等ソフト面の事業展開を図りながら、施設の利用促進に努めてください。